

# 小野市議会だより

2019.2 No.185



ミュージックフェスティバル  
(小野南中学校)

# 議案21件を慎重に審査し、可決・同意!!

12月  
定例会

会議期間29日間

(11月28日～12月26日)

市長提出議案……議案19件

議員提出議案……決議案1件・意見書案1件 計21件

一般会計補正予算(第3号)



**PICK UP 1**  
おの桜づつみ回廊  
をライトアップ!!

「おの桜づつみ回廊」は、全長4kmの美しい桜のトンネルで、約650本の桜並木は、西日本最大級。新たな魅力の創出と地域の賑わいづくりを目的に、栗田橋から北側へ350mまでの区間において、夜桜を楽しむことができるよう、桜のライトアップ設備を整備します。

昼間とは一味違った雰囲気が楽しめる新しい「おの桜づつみ回廊」に、たくさんの方にお越しただけよう今年の開花に合わせて整備します。



**PICK UP 2**  
ふるさと納税が  
2億円超

小野市への寄付金が当初から5,000万円増え、2.3億円となる見込みです。増加に伴う返礼品の費用として、2,200万円を計上しました。

指定管理者の指定



**PICK UP 3**  
公共施設の管理運  
営事業者を決定

総合体育館アルゴ、白雲谷温泉ゆびか、公園など38施設の管理運営を市に代わって行う指定管理者として、小野市都市施設管理協会などを決定しました。



## ◎ 提出議案の解説 ◎ 指定管理者とは……

指定管理者とは、平成15年の地方自治法の改正により創設された制度です。従来、市民の皆さんが利用するスポーツ施設や文化施設などの「公の施設」の管理は、市が直接管理運営するほかは、市の出資法人や公共の団体のみが行うことができましたが、本制度の創設により、民間事業者等を含め「法人その他の団体」でも管理を行うことができるようになりました。

小野市では、財団法人小野市都市施設管理協会のほか、NPO法人北播磨市民活動支援センターが「うるおい交流館エクラ」の指定管理者となるなど、市に代わってそれぞれの施設におけるサービスの向上と効率的な管理運営を目指しています。

# 提出議案と審議結果



## ★全会一致で可決・同意した議案

**予算** 平成30年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

<b>条</b>	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
<b>例</b>	小野市議会議員及び小野市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	小野市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	小野市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
	小野市消防団員の定員、任命、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

<b>指定管理者の指定</b>	小野市一般廃棄物最終処分場の管理に係る指定管理者の指定について
	小野市都市公園の管理に係る指定管理者の指定について
	小野市公園の管理に係る指定管理者の指定について
	小野市伝統産業会館の管理に係る指定管理者の指定について
	小野市立鴨池休憩所の管理に係る指定管理者の指定について
	小野市白雲谷温泉ゆびかの管理に係る指定管理者の指定について
	小野市屋外運動場の管理に係る指定管理者の指定について
	小野市総合体育館の管理に係る指定管理者の指定について
	小野市匠台公園体育館の管理に係る指定管理者の指定について

**人事案件** 小野市固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成31年3月9日で藤木保喜委員、松永進委員の任期が満了するため、その後任として下記の者を選任することに同意しました。

小野市黒川町 松永進氏(再任) 加西市下山町 横山英一氏(新任)

**意見書** 防災・減災に資するインフラ整備促進のための財源確保等具体的な対策を求める意見書

## ★賛否が分かれた議案と審議結果

議案等の件名	会派名 議員名	審議 結果	賛 成	反 対	市民クラブ					改革クラブ		公明党		民政クラブ		真政クラブ		無党派		
					岡嶋正昭	高坂純子	山中修己	前田光教	小林千津子	久後淳司	加島淳	河島三奈	富田和也	川名善三	竹内修	山本悟朗	平田真実	椎屋邦隆	河島信行	藤原章
予算	平成30年度小野市一般会計補正予算(第3号)	可決	14	1	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
条例	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	14	1	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	
決議案	河島信行議員に対する議員辞職勧告決議	可決	12	2	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	※2	●

賛成=○ 反対=●

※1 前田光教議員は、議長のため表決権はありません。

※2 河島信行議員は、除斥対象となるため採決に加わるできません。

# ここが聞きたい 一般質問!!



市民のみなさまの生活にかかわることについて、  
8人の議員が  
一般質問を行いました。

(一般質問は発言した議員が編集しました)

## ●一般質問とは……

市政全般にわたり、執行機関(市長)に対し事務の執行状況や将来における政策方針等について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。

また、小野市では、市長から提出された議案についても一般質問することができます。

## ●質問テーマは？

1. 質問する内容は、議案とは関係なく議員個人が自由に決めています。
2. 議員個人が自分なりの問題意識を市政に問い、市の見解を求めます。



## ●質問の制限時間は？

1人あたりの制限時間は40分です。(答弁は含みません)

新たな  
取組



## 《一般質問をスマホ・タブレットで視聴できます!》

各議員の顔写真の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、その議員の一般質問などの動画をご覧いただけます。

高坂純子議員(市民クラブ)

### 「コミセンおのの今後について

**質問** 市民の関心が高いコミセンおのの移転先は。

**答弁** 利便性、整備改修費用の節減、既存施設の有効活用等の観点から、福祉総合支援センターを基軸として移転する方向で考えている。

(市当局)

**質問** 社会福祉協議会の給食サービスでも利用する調理室のあり方は。

**答弁** 必要不可欠な機能なので移転先においても確保したい。

(市当局)

### 水道事業の広域連携について

**質問** 自治体の水道事業の広域連携や官民連携を進めるための水道法改正案が成立した。特に注目したのは、人口減少などで水の使用量が減り、全国的に水道事業において収益が減ること等から、現在政府が広域連携を推進しており、今回の改正にその



QRコード



内容が含まれている点である。政府は事業の広域化によって経営効率を高めるのが狙いだが、小野市としても広域連携についての方向性を考えていくべきではないか。

**答弁** 小野市におけるポイントは、①耐震化と老朽化に対しては先手管理で進めていること。②民間との連携によるコンセッション方式は行わないこと。③広域化の研究は進めるものの慎重に対応することである。先ずは自助努力により経営改善に努めることが大事であり、少なくとも今後10年間水道料金の値上げは必要ない。

(市長)



平田 真実 議員 (民政クラブ)



QRコード



### 育児休業中の保育所等利用について

**質問** 第二子以降の育児休業中に、その兄姉が保育所を退所しなければならぬケースが起こりうる。柔軟な対応はできないか。

**答弁** 多くの組織体で議論し、解決する必要がある。一定のルールは必要だが、小野市では待機児童がない現状からも、柔軟な対応をとることが市民満足度にも繋がると考える。

(市長)

### 利用者ニーズに応じた保育について

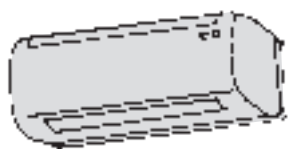
**質問** ニーズの汲み取りは、利用者・園、双方にとってより良い保育となる。市内保育所が導入している苦情解決制度を利用者に周知すべきでは。市は社会福祉法人に対しどのような働きかけができるか。

**答弁** 監査等の際、それぞれの園にお願いをしていきたい。(市当局)

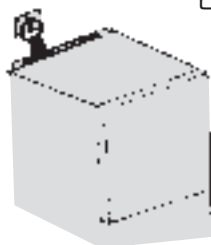
### 市営住宅の原状回復義務について

**質問** 家具転倒防止による防災対策は、ネジを使用した固定が安価で効果的だが、賃貸物件では借り手に原状回復義務があり、対策を躊躇(ちゅうちゅう)する一因となっている。市営住宅における防災対策で発生するネジ穴について配慮はなされているのか。自治体からその常識を覆すため、明確にルール化すべきでは。

**答弁** 原則的には借り手が原状回復義務を負うが、防災対策としての家具固定については、市に相談頂き、対応していきたい。(市長)



エアコンのビス穴はOK!



防災対策のネジ穴は!?

富田 和也 議員 (改革クラブ)



QRコード



### 高齢者の外出支援について

**質問** 県下初となる移動支援型訪問サービス「おのりんカー」が本年10月から開始されたが内容や取組状況、及び移送中の事故に備えた保険について伺う。

**答弁** 要支援1又は2、及び事業対象者の認定を受けた方を、運転ボランティアの自家用車で通院送迎を行う。利用料金は、片道600円と1kmあたり20円の交通費を運転手へ支払っていただく。保険はボランティア活動と送迎サービスの2種類加入し、市が負担している。(市当局)

### おの介護ファミリーサポートセンターについて

**質問** 今後の動向を見据え改善された点と更に多くの市民に参画していただくための考えは。

**答弁** 1時間600円の利用料金に、30分300円の規定を追加した。また、協力会員の養成講座修了を5回

から3回に凝縮し、効率化を図っている。今後は協力会員に対し、おのアクティブポイントが活用できると等を周知していく。(市当局)

### おの桜つつみ回廊整備・管理事業計画の内容について

**答弁** ひようご地域創生交付金を活用し、粟田橋から北側へ約350mの区間で平成31年春から夜桜を楽しめるよう桜のライトアップ設備を整備する。(市当局)

### 小野市消防団員の報酬改定について

**質問** 報酬の年間3,000円の増額案に加え、団員の士気向上に繋がる方策は考えられないか。

**答弁** 装備品の充実を図る一方、住民に信頼されるよう日々の訓練に取り組むことも大切である。(市当局)

## 河島三奈 議員 (改革クラブ)



QRコード



### 市内在住外国人との共生について

**質問** 外国人数の推移と国籍及び言語は。

**答弁** 昭和55年では市内在住260人の全員が韓国・朝鮮国籍だったが、その後出身国籍も人数も増え、本年12月ではベトナム258人、ブラジル117人の順に27の国・地域から801人が居住されている。言語は、主にベトナム語、ポルトガル語、タガログ語、中国語である。

(市当局)

**質問** 入管難民法の改正により、今後さらに外国人数は増加すると予想される。相談窓口である小野市国際交流協会の対応は。また、行政の役割をどう考えるか。

**答弁** 相談件数は増加している。内容は通訳・翻訳に関するものが多いが、病院から助けを求めてこられるような例もある。相談は、協会の持つネットワークや県の国際交流協会

等のアドバイスを得ながら解決されている。行政としては、多言語への対応、日本での生活に関するルールの周知など多様性を理解しながら共生できる社会環境を作ることが役割と考える。

(市当局)

**質問** 国際交流協会への関わり方について、更に積極的に支援し情報を共有したり、行政と融合した活動ができるような機関を設けるべきと考えるか。

**答弁** 新たな機関をつくることは考えていないが、海外勤務経験者などグローバルな視点で物事を考え行動できる人材に参画して頂く等、今後の国際化への課題に市と共に対応して頂けるよう協会の積極的に支援していきたい。

(市当局)

### その他の質問事項

・避難所における安全対策について

### 外国人労働者の受入れ体制について

**質問** 労働者不足が全国的に深刻な状況であり、国は34万人の外国人の受入れを決めた。市としての支援は。

**答弁** 管内の有効求人倍率が1.82倍と高い水準にある中、小野市在住約800人の外国人の内、約260人が技能実修生として働いておられる。さらに増えることが想定されるが、日常生活の相談、日本語の習得支援、行政手続き情報の提供など、幅広い対応が必要と考えている。

(市当局)

**答弁** 国の動向を見つつ、先進自治体の取組も見習っていきたい。また、市の国際交流協会の更なる充実のため、組織の再編も考えている。

きっちりと行政サービスを提供できる環境を、目標を決めて整えていく。

(市長)

## 山中修己 議員 (市民クラブ)



QRコード



### 指定管理者について

**質問** 多くの施設を管理・運営している小野市都市施設管理協会の現状について問う。

**答弁** 現在、管理協会が請け負っている施設は86あり、全て適正に管理されていることを確認している。今後も更なる市民サービスの向上のため、創造的・発展的な取組へのチャレンジを協会に求めていきたい。

(市当局)

### 選挙事務について

**質問** 混乱が生じた市議会議員の住居要件に関し、立候補の受付時の対応について選挙管理委員会としての見解を問う。

**答弁** 市が設置した第三者委員会の答申を受け、「候補者のしおり」の内容充実と、自身の住所要件を点検する「チェックシート」を任意で提出してもらったことを検討している。

(市当局)

岡嶋正昭議員 (市民クラブ)



QRコード



### 高齢者施策について

**質問** おのアクティブポイント事業の実施状況と今後の取組について

**答弁** 2,900人を超える方にポイント手帳を交付している。男女比は1対2で、女性の社会参加への意欲と実践度が高いことがうかがえる。今後、PRの媒体と方法を充実させ、手帳交付の申請窓口の拡大や事業内容の付加価値を検討していく。

(市当局)

**質問** 高齢者の住みよいまちづくりについて

**答弁** 市内の独居高齢者は883人で、20年前の約3倍になった。地区ごとに地縁を大切にしながら「よりよい協議会」を立ち上げ、特色ある取組を進めて頂いている。

(市当局)

### 新しまちづくりについて

**質問** ミニ開発による既成市街地への影響(雨水排水やごみ処理等の対

応)とひまわりの丘公園の再整備について

**答弁** 開発事業者や市の責務を明らかにし、良好な住環境の形成と地域の健全な発展に寄与するため、「小野市開発事業に係る調整及び地域のまちづくりに関する条例」を制定し運用している。また、市が事業者に助言、指導を行って協定書を作成し、その写しを自治会にも通知して情報を共有している。

(市当局)

**答弁** ひまわりの丘公園は全面的に見直す時期にきており「進化し続ける小野市の拠点」として、リニューアルに向けチャレンジしていく。

(市長)



川名善三議員 (公明党)



QRコード



### 市営住宅における残置物への対応について

**質問** 公営住宅での単身入居者死亡後の残置物への対応について、国土交通省から昨年1月、新たな通知が発信されたが、この通知を踏まえ小野市として今後の対応について伺う。

**答弁** これまで事例はなかったが、今後の高齢化社会の進展や相続人の特定が困難になるケースも想定されることから、今回の通知を踏まえ、どのような方法が適切か、先手管理の観点から検討していく。

(市当局)

### 死亡後の市役所手続きについて

亡くなられた方の遺族や親族の方から市役所での死亡届出の手続きが、煩雑で難しいとの声を聴くことがある。遺族の気持ちに察するに、少しでも手続きの負担を減らすことは、行政としても考慮すべきと思うところである。

**質問** 死亡後の手続き上の課題について

**答弁** 必要な手続きは、住民異動などの届出等の市民課で完了するものや、高齢介護課や水道部など他の窓口での手続きが必要となる場合があるが、必要に応じ担当課の職員が市民課窓口に出向くことが可能である。できる限りでのワンストップ対応ができており、特に課題は見当たらない。

(市当局)

**質問** 「おくやみコーナー(仮名)」の設置について

**答弁** 国においては、死亡・相続の電子化やワンストップ手続きについて方向性が示されるなど、それらの動向を注視し必要に応じて見直しに努めたい。

(市当局)

**答弁** 市民や職員の声を聞きながら検討の上、先手管理として評価されるようであれば、チャレンジしたい。

(市長)

藤原 章 議員 (日本共産党)



QRコード



### 浄谷団地集約化と住宅施策について

**質問** 浄谷団地集約化を問う。

**答弁** 同団地は入居部屋と空き部屋が点在し、犯罪や火災の発生が懸念されるので集約する。(市当局)

**質問** 転居は住人に無理のないようにしてほしい。跡地は将来の市営住宅施策のために残すべきだと考えるが、跡地利用を問う。

**答弁** 市民の声をよく聞いて、公園や公共施設への利用、住宅地として売却する等、最も市民に役立つ方策を検討する。(市長)

### 子育て支援の更なる充実に

**質問** 国は来年10月から幼児教育の無償化を進めるとしている。これを機会に小野市も、浮いてくる財源を生かして、子育て支援の更なる充実を図る考えがないか問う。

**答弁** 国の施策で小野市の負担額は約1億5千万円軽減する見通しである。この財源は市全体の施策推進を視野に入れて検討する。(市当局)

**質問** 医療費無料化や保育料無料化は「地方から国を変える」という思いでやってきた。今回の国の無償化で浮いてくる資金は新たな小野市流の子育て支援の充実に反映していきたい。(市長)

### 自治会管理の防犯灯について

**質問** 防犯灯5000作戦で市内の約55%が市の管理になった。自治会管理の防犯灯の電気代を市が負担する考えがないか問う。

**答弁** 自治会管理分は、市が補助してまずLED化を進める。(市当局)

**質問** 自治会が住民の安全・安心のため自ら防犯灯を設置した精神が大切に誇りにすべき。電気代の市負担は、大切な精神を失わないか心配する。自治会からの要望もない。(市長)

## 常任委員会審査報告

12月定例会の提出議案審査について、総務文教、民生地域の各常任委員会を開催しました。審査付託議案は、18議案あり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査しました。各常任委員会の審査結果は、次のとおりです。

### ◎ 総務文教常任委員会 ◎

《12月21日開催》

付託議案数：11件

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。



### ◎ 民生地域常任委員会 ◎

《12月21日開催》

付託議案数：8件

審査結果：反対討論はなく、全会一致で可決すべきと決まりました。





## 国に意見書を提出

## 防災・減災のための インフラ整備に必要な財源の確保を

近年、豪雨や地震による大規模災害が頻発しており、平成30年だけでも、6月の大阪府北部地震、7月豪雨、8月の台風第20号、9月の台風第21号、さらには北海道胆振東部地震が大きな被害を引き起こしました。

このように激甚化・多発化する災害を踏まえ、災害被害の軽減、災害後の経済活動の迅速な復旧につながるインフラの整備、老朽化対策、適正な維持管理等に必要な予算措置を講ずるよう国に対して要望しました。

## 河島信行議員に対して議員辞職を勧告

平成30年11月28日の定例会において、5名の議員から「河島信行議員に対する議員辞職勧告決議案」が提出されました。

本会議では、河島信行議員からの弁明、決議案に対する反対討論(2名)、賛成討論(3名)が行われました。

採決の結果、議員辞職勧告決議案は賛成多数で可決されました。(※審議結果は、3ページに掲載) 議員辞職勧告決議文は下記のとおりです。

我々小野市議会議員は、昨年12月の市議会本会議において、河島信行議員に係る2つの疑惑行為に関し、市議会並びに市民に対して、一切の説明責任をなされないことは市民全体の代表者としての良識を欠くあるまじき行為であることを主な理由として、河島信行議員に対して自らの意思により議員を辞職するよう勧告する決議を採択した。

その2つの疑惑とは、椎屋邦隆議員の議員資格審査に関するプロセスにおいて「事実とかけ離れた虚偽の情報を流布した」こと及び「市民からの疑義に対して、その事実を隠ぺいしようと画策した」ことである。

いずれの疑惑も、それが事実であるとするならば、小野市議会として見過ごすわけにはいかず、何が真実なのか、その事実を突き止め市民に明らかにする責務がある。

小野市議会では、議員辞職勧告決議を採択した昨年12月以降も、疑惑に係る重要性に鑑み、議員総会の開催、議会運営委員会への参考人招致など、再三にわたり機会を設け、河島信行議員に説明を求めてきた。

しかしながら、河島信行議員しか知りえない事実について、明確な説明がなされないために、真実は未だ闇の中である。

来年4月に小野市議会議員の改選を控え、このまま時間切れとなって事実を闇に葬ろうとされる姿勢は、小野市議会全体の信頼を損ねるものであり、もはや、市民全体の代表者である市議会議員としての自覚と良識を著しく欠くものと言わざるをえない。

よって小野市議会は、河島信行議員に対して、2度にわたってなされる議員辞職勧告の意味を深く受けとめ、自らの判断において、小野市議会議員の職を辞することを改めて勧告するものである。

以上決議する。

平成30年11月28日

小野市議会

# 平成30年 行政視察（来市）一覧

過去最多!!

	自治体名	視察日	視察内容
1	鳥取県倉吉市	1月23日	行政経営
2	岩手県一関市	1月24日	行政経営
3	山口県山陽小野田市	1月30日	行政経営
4	福岡県豊前市	2月13日	行政経営
5	京都府亀岡市	4月13日	政務活動費廃止
6	兵庫県篠山市	4月18日	議場配信システム
7	山形県村山市	5月11日	福祉医療制度
8	北海道小樽市	5月18日	行政経営
9	熊本県玉名市	5月22日	定住化促進
10	三重県亀山市	5月23日	地域包括ケアシステム
11	沖縄県宮古島市	5月31日	小中一貫教育
12	埼玉県川口市	6月27日	らんらんバスの運行
13	宮崎県日南市	7月4日	行政経営
14	愛知県清須市	7月4日	行政経営
15	長野県岡谷市	7月5日	おの検定
16	栃木県矢板市	7月11日	おの夢と希望の教育
17	新潟県小千谷市	7月11日	行政経営
18	滋賀県甲賀市	7月12日	学校給食センターの整備・運営
19	茨城県ひたちなか市	7月19日	議会運営
20	静岡県菊川市	7月20日	行政経営
21	東京都豊島区	7月30日	小野市手話、要約筆記、点字等意思疎通手段利用促進条例
22	山形県寒河江市	10月11日	川島隆太脳科学に基づく「おの検定」と「16か年教育」
23	広島県三次市	10月12日	学校給食センターの整備・運営
24	佐賀県神埼市	10月15日	行政経営
25	神奈川県湯河原町	10月17日	小中一貫教育
26	長野県松本市	10月18日	小野市手話、要約筆記、点字等意思疎通手段利用促進条例
27	千葉県四街道市	10月25日	夢と希望の教育
28	広島県府中町	10月29日	子どもの医療費助成制度
29	愛知県東海市	11月2日	行政経営
30	大分県日出町	11月8日	学校給食センターの建設・運営
31	沖縄県宜野湾市	11月16日	後手から先手管理の実践（3つの条例制定）
32	三重県鈴鹿市	11月22日	行財政改革



## ◎ 行政経営4つの柱 ◎

- ・顧客満足度志向
- ・成果主義
- ・オンリーワン
- ・後手から先手管理



## ◎ 夢と希望の教育 ◎

- ・胎児（-1歳）～15歳の16か年教育
- ・脳科学理論に基づく教育
- ・各地域ごとに特色のある併設型 小中一貫教育



## ◎ 新学校給食センター ◎

- ・副食2品から3品へ
  - ・食物アレルギー対応
  - ・床を濡らさないフルドライ方式
  - ・汚染、非汚染作業区域を明確に区分
- 安全衛生管理の徹底

# 全国から視察続々

平成30年に地方議会から来られた行政視察は過去最多の32件!!  
合計226名の方が、小野市の特色ある施策を視察されました。

12月定例会  
審議結果

一般質問

一般質問

一般質問  
常任委員会審査

視察（来市）

視察報告

小野市議会の  
取組と評価

# 議員研修会（小野市の消火活動について）

平成30年10月24日（水）に小野市の消火活動について議員研修会を実施しました。8月2日（木）に群馬県渋川広域消防本部へ議員派遣による視察研修を行っており、全国で注目を集めている「渋消式」と比較して、小野市のOS戦術（小野市消防本部火災防御戦術）を確認しました。

「渋消式」に勝るとも劣らない「OS戦術」に日々の訓練の結果が伺え、安心して任せられることを実感しました。



現場到着から放水までの迅速な動き

## OS戦術とは？

出動最少人数の3人体制での消火活動をマニュアル化。指揮者によって、動きが変わらないよう、統一した。

## ホースのたたみ方

迅速に放水するため、狭い建物に持っていくホースのたたみ方はジャバラ折り。全て伸ばさなくても水が出るようにしている。



通報から救急搬送までの対応



泡を使った消火



消火活動は1分1秒を争いますので、消防車が通れなかったり、消火栓を塞ぐような路上駐車は止めましょう。

## 泡を使った消火

消火する水を泡にすることにより、少ない水量で効率的に消火が可能。延焼していない場所も水浸しにならない。

小野市も参考になりました。

## 群馬県渋川広域消防本部の「渋消式」

火災現場到着から放水開始に至るまでの徹底した時間の短縮について注目され、全国から視察が相次いでいる。

ホースのたたみ方や連結法、消防車の内装まで至る所に考えを巡らせ消火に関する効率的な方法を追求している。



ホースが3本入る  
渋消式ホースバッグ

# 議員派遣報告

平成30年11月13日(火)～11月15日(木)

## 茨城県石岡市

### 朝日里山ファームの取組について

#### 朝日里山ファームとは？

「新規就農者研修施設」と「農産物加工施設」の二つの機能を持つ「朝日里山ファーム」。「NPO法人 アグリやさ」とを指定管理者として、体験型観光施設「朝日里山学校」周辺の耕作放棄地を再生し、新規就農者の研修農場として整備。毎年1組(夫婦)ずつ、2家族が2年間有機農業を学び、研修終了後は新たな農業の担い手として市内で独立できるよう育成をされています。

関東圏の大消費地を抱える地域特性やJAとのタイアップ、国庫補助の活用等により、この取組による就農者が、離農する例はほとんどないそうです。

当初はJAが始めたこの取組で、他市から入居され、石岡市で就農されている方は約80名にもものぼり、確実に生計を立てておられます。

小野市においても、耕作放棄地の活用、農業の無限の可能性へのチャレンジ、定住促進施策として、一考の余地があるかもしれません。



収穫された野菜



新規就農者研修施設

(朝日里山ファームパンフレットより抜粋)



研修農地は、1家族60㎡。パイプハウス、トラクター等の農機具は無料で貸与されます。

## 第6回 議会調査研究活動報告会

12月26日  
開催!!

平成30年度 小野市議会 議会調査研究活動(9月～11月まで)

派遣日	11月13日	11月14日～15日
派遣先	茨城県石岡市	栃木県宇都宮市
内容	朝日里山ファームの取組について	第13回 全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮
派遣議員	富田和也、小林千津子、高坂純子、前田光教、河島三奈、岡嶋正昭、竹内 修、加島 淳、山中修己、川名善三	

詳しくは議会ホームページの「議会調査研究活動報告」で



## 第13回全国市議会議長会研究フォーラム in 宇都宮

### 議会と住民の関係について



各市議会議員がパネリストとなって、先進的な取組みを披露されました。

#### 久慈市（岩手県） 桑田 鉄男 氏

##### じぇじぇじぇ基本条例

「おら達の住む久慈市は…」で始まる久慈市議会基本条例は前文が方言となっており、「“じぇじぇじぇ”な議会を目指していくべえ」とあるように、これまでにない発想で、議会改革を行っています。

##### かだって会議

ワールドカフェ・スタイル(カフェのようなくつろいだ空間の中)で気楽に市民とかだって(一緒に)かだる(語る)場を創出し、幅広い層から意見を聴いています。

#### 新潟市（新潟県） 伊藤 健太郎 氏

##### 主権者教育推進プロジェクト

選挙権年齢が18歳に引き下げられたことを契機に、市内中学生、高校生を対象に模擬市議会、地域課題解決のワークショップ、市議会傍聴等を行っています。

#### 犬山市（愛知県） ビアンキ アンソニー 氏

##### 市民フリースピーチ

全国初の米国出身の議長が、母国で行われている、議場で市民が発言する市民フリースピーチを導入。発言は1人5分以内で、原則質疑応答はありませんが、市民の意見を受け止め、議会に関心を持ってもらうことを目的としています。



#### 竹原市（広島県） 道法 知江 氏

##### 女性の活躍

女性軽視の社会を変えたいと政治の世界に入った女性議長。女性ならではの視点で、誰もが認め合えるような地域社会づくりや妊婦健診の助成拡大、乳がん・子宮頸がん対策に取り組みました。男女お互いが尊重し合い、認め合う議会を目指しています。

#### 小野市議会の取組は？

##### 政務活動費

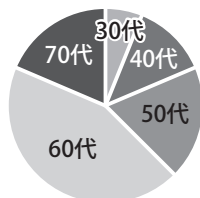
政務活動費の内訳を公開することが、議会改革度に大きく反映されますが、小野市では、平成29年度から廃止しています。

これは調査研究をしないということではなく、議員自らが計画した内容を議会で審査、承認してから実行するという目的を明確にした「ターゲティングワーク」への転換で、用途の透明性と説明責任を果たす活動とした全国でも珍しい新たな取組です。

##### 多様性

小野市の女性議員の比率は25%（16人中4人）。全国平均14.4%をはるかに上回っています。

また、30代から70代まで幅広い世代の議員がおり、多様な価値観で審議することができます。



##### 意見交換会

小野地区区長との意見交換会を実施しました。

少人数で、気軽に身近なご意見を出していただきました。

いただいたご意見は、議員同士で共有、協議し、一般質問につなげることもあります。

今後、他地区での実施も検討しているところです。



議員による

## 小野市議会の取組と評価

調査研究  
政策提言

## 政務活動費の廃止と議会調査研究活動

- これまで一律に支給されていた政務活動費を廃止し、調査や研究に必要な費用はそれぞれで提案し、議会調査研究活動費として、議会で承認を得られたもののみ支出することとなった。
- 各議員による本当に必要な研鑽を目的に、報告会でのフィードバックも含め、大きく変革出来たことは、小野市議会にとって大きな成果に繋がる。
- 議会調査研究活動報告会を実施し、当局も含めた研修成果の共有が可能となった。
- 調査研究活動については、議会全体のためのものであるように考えるようになった。認められて行うものなので、自信を持って報告できる。
- 調査研究事項等がまだまだ政策提言につなげていない部分がある。

広聴  
住民参加

## 議会報告会・意見交換会

- 小野地区区長との意見交換会が平成24年度から毎年開催されてきた。
- ご意見の中には当局に問題提起するべきものも多く、有益である。
- 他地区でも、議会としての意見交換会を開催することが望ましい。
- いただいた意見を議会全体としてどのように対処していくかが課題。
- 議員の声も地域の声も聴き、意見交換しなければならない。

開かれた  
議会

## 託児と手話通訳・要約筆記

- これまで、定例会2日目と3日目の午前中のみだった傍聴時の託児サービスを午後にも拡大。
- 手話通訳・要約筆記も実施し、耳が聞こえにくい方にも本会議の傍聴に来ていただいている。
- 質問内容によっては、若い世代や他市からも傍聴があり、関心を持っていただいている。
- 議会の傍聴者数については、まだまだ少ないのが現状なので、もう少し議会全体の課題として捉え、検討していく余地がある。



## 情報公開 報告

### 議会インターネット配信と市議会だより

- 本会議ではスマートフォンやタブレットでも視聴しやすいYouTubeでのライブ配信を行っている。
- 一般質問の録画配信については、議員ごとに区切るなど、視聴しやすいよう取り組みを行っている。
- ホームページにおいて提出議案の掲載を開始した。
- 議会活動における情報について、市民への議会活動の報告手段の一つとして「市議会だより」の充実を図っている。
- リニューアルにより、見やすい市議会だよりとなった。
- 市議会だよりでは、いまだ一般的になじみのない専門用語が使われたりする。どれだけわかりやすい紙面にしていくのが難しい。



### 女性議員

## 女性活躍

- 2015年の地方統一選挙後、女性議員の割合が全国平均で12.1%であった中、小野市議会では16人中4人が女性で、その比率は25%と高くなっている。
- 様々な世代から見る女性目線があることは男女共同参画においても有意義なことであり、男性議員にとっても視野や見識が広がり相乗効果をもたらしている。
- 議会が男女共同参画のモデルになれば素晴らしい。
- 会議規則中の欠席届の理由に「出産」を明記した。



### 請願、条例等

## 議会の 役割

- 市民からの請願の審査を行うことは、議会の役割として重要である。
- 議会における災害発生時の対応要領を策定した。
- 長期欠席議員の報酬減額に加え、議員辞職勧告決議を受けた議員の賞与を減額する条例を制定した。
- 議長選挙は立候補制を導入し、所信表明演説を経て、選挙を実施している。
- 議会基本条例は、議会改革を推進するための必須条件ではない。市議会申し合わせ事項の見直し及び遵守の徹底により、議員各自の改革意識を醸成していくべき。



議会改革は議会のためではなく市民のために。  
市民と共に歩む議会へ。

# 議会を傍聴しませんか

## ☆ 3月定例会日程 ☆

- 2月26日(火) 午前10時～ 本会議(第1日)  
※議案説明
- 3月11日(月) 午前10時～ 本会議(第2日)  
※一般質問
- 3月12日(火) 午前10時～ 本会議(第3日)  
※一般質問
- 3月26日(火) 午後1時30分～ 本会議(第4日)  
※採決

- ★一般質問では、市長から提出された議案や、市政全般について議員が質問し、市長や部長等が答弁します。
- ★3月定例会で一般質問する項目・内容については、3月上旬に市議会ホームページに掲載します。

## 傍聴者の休憩室を開設

一般質問が行われる11日(月)と12日(火)の2日間は、休憩室を開設しています。  
セルフサービスのお茶も用意しています。

## 議会に来れなくても…

### QRコードで議会中継へ簡単にアクセス!

本会議をYouTubeで生放送、録画放送しています。スマートフォンやタブレット端末で下記QRコードを読み取り、市議会放送YouTubeにアクセスしてください。本会議の開催日には、生放送をご覧ください。

市議会放送



小野市議会では、本会議を一般公開しています。当日受付で、住所・氏名を記入するだけで、どなたでも議会の傍聴ができます。市役所5階の議会事務局までお越しください。



傍聴席から見た議場

## 「託児コーナー」を開設

一般質問が行われる3月11日(月)、12日(火)は、「託児コーナー」を開設します。傍聴の際には、1歳から就学前のお子さまをお預かりします。希望される方は、3月1日(金)までに議会事務局にお申し込みください。  
(費用負担はありません)



## 「手話通訳」・「要約筆記」を利用できます

本会議を傍聴される際に「手話通訳」・「要約筆記」を利用することができます。希望される方は、希望される定例会開催日の8日前までに議会事務局にお申し込みください。  
(費用負担はありません)



## 議会傍聴者数

12月定例会 53人  
(平成30年度累計 187人)

《お申し込み先》 議会事務局 TEL.63-1006(直通) FAX.63-4108 E-mail:gikai@city.ono.hyogo.jp

## あとがき

表紙の写真は、12月1日に小野南中学校で行われた「ミュージックフェスティバル」の様子です。どのクラスもしっかり練習されていたようで、のびのびと体育館いっぱい広がるハッピーに感動しました。  
さて、4月には市議会議員選挙が予定されています。今回発行される「市議会だより」が、我々が今の任期中にお届けできる最後の号となります。  
次年度以降は、新たなメンバーで編集することになります。皆さまが「気軽に手に取って読んでもらえる議会だより」となるよう、更に充実した紙面づくりに努力してまいります。  
寒い日々が続きますが、ご健康にはくれぐれもお気を付けてください。  
(市議会報編集委員 加島 淳)